

# UNIFORM 2030

## ユニフォームから考えるいのち

参加者  
募集中!

申込みはコチラから



日時

2026年 8月 5日 (水)

10:00~12:00 親子向けワークショップ  
14:00~16:00 大人向けワークショップ

場所

大阪大学中之島センター  
5F いのち共感ひろば



大阪府大阪市北区中之島4丁目3-53

共同主催 いのち会議  
INOCHI FORUM

社会ソリューションイニシアティブ (SSI) (大阪大学)  
SOCIAL SOLUTION INITIATIVE

株式会社チクマ

後援 関西SDGsプラットフォーム大学分科会

### 親子向けワークショップ

小学生の親子向け

## 着て・見て・作って、 ユニフォームからいのちを考えよう!

夏休みの  
自由研究に



身の回りのユニフォームからいのちについて体験的に考えるワークショップです。実際に着用してみたり、特殊な生地を触ったり見たりしながら、服の役割について楽しく学びます。また、いのちを守るユニフォーム生地を使ったアクセサリ作りも行います。



時間 10:00 ~ 12:00

対象 小学生の親子 10組、  
小学5年生以上は一人での参加も可

- プログラム
- ① いのち会議のお話
  - ② いのちを守るユニフォームのお話
  - ③ 着て・見て・触って 体験&クイズ
  - ④ ものづくり体験  
「よく見える! ぼんぼんアクセサリ作り」



いのちを守る高視認性安全ベストなどに使われる生地の裂き布を使ったアクセサリを作ります。

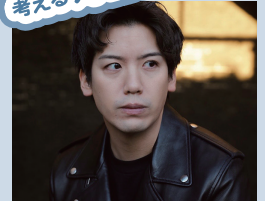
### 大人向けワークショップ

大学生以上向け

## いのちをまとう ~働くこと・循環すること・未来の社会

ファッション・繊維・貿易・教育など多様な分野の参加者とともに、「ユニフォーム」を起点に未来の社会といのちのあり方について考える対話型イベントです。ファシリテーターには、モデル、ファッションプランナーの谷裕介氏を迎え、株式会社チクマとの共創により「働くための服」としてのユニフォームを、「いのちの痕跡をまとう存在」として再定義していきます。議論だけでなくとどまらず、今後の教育・体験・産業連携へとつながる“起点”となることを目的とします。

ユニフォームを起点に  
いのちのあり方について  
考える対話型イベント



時間 14:00~16:00

対象

大学生以上  
ファッション、繊維、教育、  
企業活動、SDGs、  
サステナビリティに  
関心のある方 (定員30人)

プログラム

- ① 主催者挨拶：いのち会議について
- ② オープニング：なぜ今、「服」を問い直すのか
- ③ インプットセッション：ユニフォームの現状と課題
- ④ グループディスカッション：テーマ別対話
- ⑤ 共有、宣言：「未来のユニフォーム宣言」に向けて

ファシリテーター / 谷 裕 介

1993年石川県生まれ、東京育ち。  
俳優、モデル、ファッションプランナー。  
「ファッション・プリンシプル」を軸に、  
衣服を通じた社会・環境・教育のプロ  
ジェクトを国内外で展開。行政や企業  
と連携しながら、ファッションの背景に  
ある生産や消費、人との関係性を伝える  
活動を行っている。2024年には、国際  
協力機構のプロジェクトにてドミニカ  
共和国の農業着・医療服をデザイン。  
また、ディレクターとして写真展の開催  
や作品のプロデュースも行う。



# アクションパネル

## 「ユニフォームプロジェクト」

ユニフォームは、単なる「仕事着」ではありません。働く人を守り、役割を伝え、社会を支える存在です。消防士、看護師、学校職員、工場労働者…その先にいる家族や地域の安全、そして地球上の多くの「いのち」のつながりをユニフォームを通じて考え直します。

本イベントは、子どもたちには「体験」を、大人たちには「対話」を通じて、**ユニフォームを「いのちの痕跡をまとう存在」として捉え直し、**未来の服・働き方・社会のあり方を共に考える一日です。

「いのち会議」とは、一人ひとりが地球の上で生かされている「いのち」という意識に立つてつながり、声を上げ、聞きあい、考え、対話し、それらをひとつの流れへと編み上げ、社会の変化へとつなげていく場です。「いのち」とは何か、「輝く」とはどういうことか、「誰一人取り残さない」ために何をなすべきか——こうした問いを、あらゆる境を越えて共有し、それぞれが行動へと移していきます。

## いのち会議の取り組み



### いのちの声

自分が望むことや未来の社会に関して、世代や性差、民族や国籍など、あらゆる境を越えて、若者や子どもたちも含めた小さな声に耳を傾けます。文字だけでなく、絵や動画など、さまざまな表現による声を集め、それらを丁寧に整理・分析します。AI 等も活用しながら、アクションパネルのテーマや SDGs との関係を可視化し、具体的な取り組みや「いのち宣言」の発展へとつなげていきます。



### アクションパネル

産官学民のメンバー、さらには大学生や高校生、中学生や小学生を含む若者や子どもたちとともに、防災、エネルギー、ジェンダー、貧困など SDGs に関連するテーマに加え、科学技術や芸術・スポーツ等の SDGs + Beyond のテーマごとに活動を展開しています。それぞれのテーマにおいて、課題の解決や達成に向けた取り組みを進めるとともに、新たな課題の発見にもつなげています。



### いのち宣言

いのちの声やアクションパネルの活動を通じて、いのち輝く未来社会の実現に向けて人類が為すべきことを言葉として結実させ、社会に提示したものが「いのち宣言」です。2025 年の大阪・関西万博会場において世界に向けて発信されました。この宣言は、SDGs の達成に資するのみならず、2030 年以後の社会に向けた行動指針を示すものであり、現在も活動の理念的基盤として、実践の中で更新され続けています。



### ユースチーム

いのち会議は、子どもや若者とともに活動を進めていきます。「いのちジュニア EXPO」をはじめとしたさまざまなプログラムを実施するとともに、小学校、中学校、高等学校、専門学校、大学といった教育機関における取り組みを「ユースチーム」の活動として支援し、世代を超えた対話と実践の広がりを生み出していきます。

### いのち会議のこれから

「いのち会議」の取り組みは、産官学民の多様な主体による共創を通じて展開され、2025年大阪・関西万博において「いのち宣言」として結実し、国内外に発信されました。今後は、その成果を基盤として活動を継続・発展させ、SDGsの推進に貢献するとともに、その先の社会のあり方を構想していきます。

お問い合わせ

株式会社クマ

キャンパス事業部 服育net研究所

TEL : 06-6222-3511  
Email : fukuiku@fukuiku.net